

大平下水処理場でし尿の受入は可能か

受入れの検討は必要と考えている

議員 釜石市の厳しい財政状況や今後の少子高齢化に伴う人口減少による汚水量の減少等を踏まえ、市内等のし尿を大平下水処理場で受け入れてはどうか。

下水道課長 釜石大槌地区

行政事務組合の構成団体である釜石市と大槌町との意思決定によるが、一般論としては、国においても下水道を含む污水处理の広域化・共同化に係る計画策定から施設整備までを総合的に支援し、下水道事業の一層の効率化を推進することを目的とする下水道広域化推進総合事業が創設されて

いる。また、し尿受入れ施設も交付金の対象とするなど支援策を講じている。当市としても、地域における持続可能な污水处理事業を実施するにあたり、この制度を活用することは有効な手段の一つと考えている。

人口減少や下水道普及に伴うし尿の搬入量の減少等による経営環境の変化・下水処理場の施設の改築更新等、今後の施設の再構築に伴う将来的な事業方針を検討していく場合において、地域から発生する下水道汚水とし尿及び浄化層の汚泥等の処理を一体的に行う汚

水処理事業全体のコスト削減等、将来に渡って安定した下水処理業務を行うためには、運営手法も含めた共同化の可能性等についても検討していくことが必要であると考えている。

議員 第二次釜石市環境基本計画を踏まえた今後の事業は。

市長 まずは私達が地球

温暖化を自分事として捉え、脱炭素社会に向けて意識を変えなければならぬ。各家庭においては、省エネの推進やゴミの分別・削減等を意識的に行う必要があることから、新年度は

更に身近な観点で省エネ・節電に関する市民向け講座の開催を予定している。また、環境分野の個別計画である「釜石市再生可能エネルギービジョン」は、令和5年度末の策定を予定。内容は、当市における再生可能エネルギーの活用及び推進施策の指針となるもの

で、国内外のエネルギー政策に関する動向や当市の特性、再生可能エネルギーの状況や導入可能量推計及び課題、目指すべき将来像、その達成に向けた基本方針や再生可能エネルギー導入目標のほか、取組の重点プロジェクト及びロードマップを盛り込んでいる。



し尿などの受入れ検討が求められる「大平下水処理場」



三浦 一 泰
(民政クラブ)



三浦議員の動画はこちら

質問項目

- ・下水道事業について
- ・温室効果ガス排出削減について